株主のみなさまと東芝をつなぐ情報誌

株主通信 2014年 **多号**

本株主通信では、10月末に公表しました2014年 度第2四半期累計期間(4-9月)(以下、2014年度上 期)の決算の内容を中心にご報告いたします。

2014年度上期は、営業損益、税引前損益、 当期純損益ともに前年同期と比べて増益となりました

売上高は、電力・社会インフラ部門やコミュニティ・ ソリューション部門を中心に伸長し、前年同期比で 1,077億円の増収となる3兆1,084億円を達成しました。

営業損益は、前年同期比で82億円の増益となる 1,151億円となり、1990年度上期以来の高い水準に 達しました。

また、営業損益の増益などを受け、税引前損益は前年同期比で約26%増益の673億円、当期純損益は前年同期比で約43%増益の308億円を達成しました。

剰余金の配当(中間)を1株につき4円に決定しました

上記の決算や、直近の業績動向、財務体質を踏ま えて、取締役会にて剰余金の配当(中間)を1株につ き4円と決定いたしました。

将来に向けてパソコン事業の構造改革を断行します

ライフスタイル部門のパソコン事業は、これまでの取り組みにより、第2四半期(7-9月)も黒字基調でしたが、一般消費者向けパソコンについては、スマートフォンやタブレットとの激しい競争により、今後のさらなる需要減少が見込まれるため、追加的構造改革の実施を決定しました。海外における一部地域での撤退を含め

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから多大な ご理解とご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

本株主通信は

2014年9月末時点での株主のみなさまにお送りいたしますことをご了承ください。

同分野を縮小する一方、黒字を継続している企業向けパソコン分野に集中します。

2014年度は過去最高となる営業損益をめざします

2014年度の業績見通しは、特に、電力・社会インフラ部門、電子デバイス部門が、期初計画を上回るペースで好調に推移しており、パソコン事業の構造改革を実施したうえで、過去最高の営業利益3,300億円をめざします。

当社は、人々の「安心・安全・快適な社会 - Human Smart Community (ヒューマン・スマート・コミュニティ)」の実現に向け、エネルギー、ストレージ、ヘルスケアの各分野で貢献してまいります。株主のみなさまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



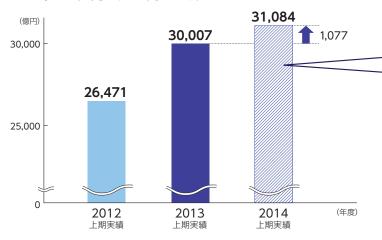
1. 2014年度上期 連結決算概要

10月30日に2014年度上期連結決算を公表しました。本株主通信では、業績について概要を抜粋してご紹介します。 2014年度上期連結決算の詳細は、

東芝ホームページの投資家情報 ➡ IRイベント ➡ 決算説明会 でご覧いただけます(🗎 説明動画も視聴できます)。

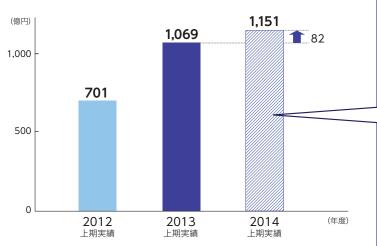
(1) 売上高

電力・社会インフラ部門の大幅な伸長などにより、 3兆1,084億円の売上高を達成しました。

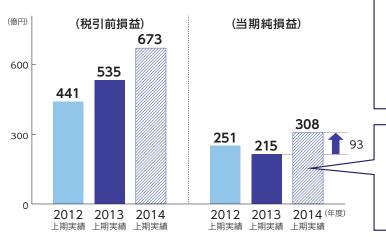


(2)営業損益

1990年度上期以来の高水準となる1,151億円の 営業損益を達成しました。



(3) 税引前損益、当期純損益



2014年度上期 売上高について

- 電力・社会インフラ部門やコミュニティ・ソリューション部門を中心に伸長しました。
- •電力・社会インフラ部門は、すべての事業が増収となり、 同部門の売上高は9,158億円となりました(前年同期比 1,327億円、約17%の増益)。

2014年度上期 営業損益について

- •電力・社会インフラ部門では、原子力発電システム事業が、燃料・サービスを中心に増益となったほか、海外向けの鉄道用機器事業が大幅な増益となりました。また、太陽光発電システム事業やスマートメーターで世界トップシェアのランディス・ギア社も好調に推移し、同部門の上期営業損益は前年同期比でほぼ倍増の301億円となりました。
- •電子デバイス部門の第2四半期の営業損益は、四半期としては過去最高の701億円を達成しました。特に、スマートフォン、タブレット、薄型パソコン、メモリカードなどの商品においてデータ記録・保存用として組み込まれるNAND型フラッシュメモリの第2四半期の利益率は前年同期を上回る水準となりました。同部門全体の上期の営業損益は、1,067億円に達し、2013年度上期から3半期連続で1,000億円を超えました。

(単位:億円)

部門名	2013年度 上期	2014年度 上期	前年 同期比
電力・社会インフラ	156	301	145
コミュニティ・ソリューション	93	158	65
ヘルスケア	106	65	-41
電子デバイス	1,174	1,067	-107
ライフスタイル	-352	-293	59
その他*1	64	23	-41
計*2	1,069	1,151	82

- *1「その他」には、主な事業として物流サービスなどがあります。
- *2 営業損益には、上記のほかに、部門間消去、基礎的研究開発費・本社管理部門費等の一部が2013年度上期に-172億円、2014年度上期に-170億円含まれています。
- ライフスタイル部門のパソコン事業に関する構造改革 費用を200億円計上したものの、ライフスタイル部門 全体では、前年同期比で改善しました。テレビ、家庭電 器事業は、構造改革や円安対策などの効果により、前 年同期と比べて大幅に改善しました。

2014年度上期 当期純損益について

• 営業損益の増益に加え、金融収支の改善や、資産軽量化などの効果により、前年同期比で93億円増益の308億円となりました。

2. 2014年度の業績見通し

前回の株主通信でお知らせした2014年度の業績予想に変更はありません 営業損益は過去最高の3.300億円をめざします

2014年度上期より、将来に向けたパソコン事業の 追加的構造改革*に取り組んでいますが、電力・社会・ インフラ部門、電子デバイス部門が期初計画を上回 る見通しであることから、東芝全体の業績予想に変 更はありません。

2014年度の業績見通し

(単位:億円)

	2013年度(実績)		2014年度	前年度比
売 上 高		65,025	67,000	1,975
営業損益		2,908	3,300	392
税引前損益		1,809	2,500	691
当期純損益		508	1,200	692

*パソコン事業の安定的黒字化に向けた取り組み

- 継続的に黒字を計上している企業向けパソコン分野への構造 転換を加速し、一般消費者向けパソコン分野は、海外における 一部地域での撤退も含め、大幅に縮小します。
- 海外販売拠点を削減し、現在32ある販売拠点を2014年度中 に13拠点まで削減します。
- ・製造部門を除き、国内外でパソコン事業に関わる従業員総数の約20%強に相当する約900名を削減(うち、国内人員約400名は当社グループ内での再配置を中心に実施)するなどし、2013年度と比較して200億円以上の固定費削減を図ります。
- 徹底的な軽量経営をめざし、開発や調達・流通コストのさらなる 削減のほか、事業運営の見直しや国内本社機能のスリム化な どを進めます。

3. アセアン地域における事業の拡大

今後5年間で約1.000億円の投資を行い、2020年度に現在の約2倍以上となる売上高7.000億円をめざします



- 9月24日、インドネシアのジャカルタにて、アセアン地域およびインドネシアにおける事業戦略を発表しました。高い経済成長率を維持し、今後も成長市場として期待される同地域において、エネルギーの安定供給に向けて社会インフラ事業を加速し、また、半導体や医用機器などを中心に事業を拡大していきます。
- これまで、アセアン地域は、電力・社会インフラ部門、電子デバイス部門、ライフスタイル部門の製造拠点としての役割を担ってきました。今後は、新たな事業の柱とすべく強化しているヘルスケア部門でも、マレーシアにおいて、本年12月に医用機器新工場の生産を開始します。

お知らせ ―― 投資家情報サイトのご案内

より早く、より簡単に、東芝についての情報を入手できます。ぜひ、当社のホームページをご利用ください

東芝ホームページの投資家情報

いち早く決算を確認するには?

決算発表と同時に決算資料を見ることができます。決算発表日の夜以降は、アナリスト向け決算 説明会を動画でも視聴できます。

東芝ホームページの投資家情報 ➡IRイベント

- ▶決算説明会 でご覧いただけます
- (□説明動画も視聴できます)。

短時間で東芝を理解するには?

東芝の歴史や、業績、シェア、配当など東芝に関する情報を確認できます。

東芝ホームページの投資家情報

➡個人投資家の皆様へ



詳しく財務情報を分析するには?

これまでの詳しい財務情報を確認できます。新機能「財務チャート自動生成ツール」で見やすいグラフとして確認することもできます。

東芝ホームページの投資家情報

財務·業績

最新のアニュアルレポートや、 過去の株主通信を入手するには?

アニュアルレポート、株主通信、有価証券報告書などをご覧になれます。

東芝ホームページの投資家情報

➡IR資料室

電力・社会インフラ

シンガポールで鉄道合弁会社を設立しました

10月1日にシンガポール・レイル・エンジニアリング社と永 久磁石同期モーターを用いた鉄道車両向け駆動システムの 設計・販売・据付を行う合弁会社を設立しました。静かで、軽 く、効率のよい当社製駆動システムは、東京メトロ・京王電 鉄・北大阪急行・阪急電鉄・JR九州の各お客様や、シンガ ポールの鉄道車両でも採用済です。当社は、本合弁会社を通 じ、各国の車両更新需要にあわせた事業展開を加速します。

ブラジルでスマートメーターなどを受注しました

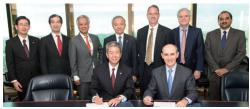
10月15日、グループ会社のランディス・ギア社は、ブラジル で配電事業を手掛けるライト社から、電力使用量を測定する スマートメーター110万台を含むスマートグリッドシステムー 式を約330億円で受注しました。これは南米最大規模の契約 となります。本年から2018年にかけて順次納入する予定で、 本システムの導入により電力網の監視や制御が可能となり ます。

コミュニティ・ソリューション

業務用空調事業において 米国企業との戦略的提携に合意しました

10月10日、当社は、ビル・ソリューションや産業システムを 手掛ける米国の大手メーカーであるユナイテッドテクノロ ジーズ社と、業務用空調事業における戦略的提携に合意し、 覚書を締結しました。当社と、ユナイテッドテクノロジーズ 社傘下のキヤリア社が出資する東芝キヤリア株式会社は、 今回の合意に基づき、業務用空調システムを中心に、今後 10年間で、現在16億ドルの売上高の倍増をめざします。ま た、海外において、エンジニアリングや営業機能を強化する

とともに、イ ンドや北米 に製造拠点 を設立する ことも検討 します。



ユナイテッドテクノロジーズ社との覚書締結の様子

ヘルスケア

植物工場での生産を開始しました

9月30日、「東芝クリーンルームファー ム横須賀」で、野菜の生産を開始しま した。菌の侵入を制限したクリーン ルームで育成される野菜は、雑菌に よる傷みが少なく、鮮度が求められる



東芝クリーンルームファーム横須賀

カット野菜やサラダ用として販路を拡大していきます。

リストバンド型活動量計を発売しました

8月20日、Amazon、Yahoo!ショッピングにて、2週間充電 不要のリストバンド型活動量計を発売しました。新商品は スマートフォンと連携して「活動量・睡眠・食事」を記録し、総 合的に管理することができます。

電子デバイス

四日市工場の第5製造棟(第2期分)が竣工しました

9月9日にNAND型フラッシュメモリを製造する四日市工 場の第5製造棟第2期分の竣工式を行い、15ナノメートル* 製造プロセスを用いた製品の出荷を開始しました。また、同 日、三次元構造のNAND型フラッシュメモリ専用の製造設

備を設置するスペースを 確保するため、新・第2製 造棟の建設を開始しまし た。当社は、今後も最先 端の技術開発を進め、競 争力をさらに強化します。





四日市工場 第5製造棟

ライフスタイル

好評の「マジックドラム」を採用したドラム式洗濯乾燥機の新商品を発売しました

10月から、防汚コートで黒カビの原因となる洗剤カスの付着を防止する洗濯槽「マジックドラム」を採用 したドラム式洗濯乾燥機の新商品を発売しました。新商品は、洗浄力を高めるために、洗濯槽内側の底 面に「もみ洗いボード」を搭載した新洗浄方式を採用しています。従来の「たたき洗い」だけでは落としき れなかったどろ汚れなどの固形汚れもきれいに洗い上げます。そのほかにも、部屋干しのいやな臭いを 防ぐ機能、「振動吸収クッション」や駆動音を抑えたモーターなどによる低騒音運転を特長としています。(たは、付属のセレクトドア装着時)



TW-Z96X2ML

株式会社 東芝 〒105-8001 東京都港区芝浦一丁目1番1号 TEL (03)3457-4511(代表)

株式事務についてのご案内

株主名簿 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

東芝専用ダイヤル 00 0120-78-6502

ご意見・資料請求は株式会社東芝 広報・IR室あてにお送りください。 投資家情報サイト

http://www.toshiba.co.jp/about/ir/

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画 や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の 予想と異なることがありますことをご承知おきください。